**実績報告書（１~３枚目）経過報告書（４枚目）の記入方法**

**・実績報告書の提出期日は2月10日ですが、早めの提出にご協力ください。**

**・事業終了後（購入後・実施後）提出をして下さい。**

**・交付決定通知に同封した計画書に手書きで書き加えるか、ワードで作成する場合は、計画書部分を残した状態で作成してください。**

**・記入箇所は赤字の部分ですが、記入時はすべて黒字にしてください。**

**交付決定通知に同封した計画書に記入してある２４から始まる５桁の数字を全ページに入れてください。**

様式Ｂ

イノベーション創出事業　計画書（　変更計画書・実績報告書・経過報告書　）

**領収書日付以降、令和７年２月10日以前**

申請日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業計画申請日 | 変更計画申請日 | 実績報告日 | 経過報告日 |
| 令和６年〇月〇日 | 年　　月　　日 | 令和〇年○月○日 | 別記 |
| 添付書類等 |
| 誓約書 | **添付書類は、交付決定通知に同封した書類を参考に添付してください** | ☑請求書の**写し** | **添付忘れないかチェック。****税込100万円以上・外注費・委託費の場合は、これ以外にも提出書類があります。見積書の提出が必要な場合もあります****書類は写し（コピー）を添付してください** |
| 見積書の写し | ☑領収書の**写し** |
| □（法人の場合は現在事項全部証明書又は履歴事項全部証明書） | ☑購入した製品等の写真 |
| □（団体の場合は組織及び運営に関する規約等） | □（収益納付がある場合は収益納付に係る報告書） |

※上記以外の書類についても提出を求める場合があります

申請者の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名/団体名（船名） | 静岡太郎（〇〇丸） | 電話番号 | (AAA)AAA-AAAA |
| 団体の場合 | 責任者 |  | E-mail | AAA@AAA.AAA.AAA |
| 担当者 |  | Fax | (AAA)AAA-AAAA |
| 住所 | 〒〇〇〇－〇〇〇○○市○○町○－○ |
| 漁業種類（漁業者の場合） | 申請者の主たる漁業種類と漁獲する主な魚種を記入一本釣り（キンメダイ） | 経営の種類（法人の場合） | 業種と主要製品・サービスを記入 |
| 所属する団体 | 「○○漁業協同組合」「○○加工組合」等、所属する団体がある場合は記入（ない場合は空欄）〇〇漁協 | パートナーシップ構築宣言公表の有無 | 有　　・　　 |
| 支援チーム名 | 相談先支援チーム名（県漁連、信漁連等） | 支援チーム担当者氏名 | 相談先支援チーム担当者名**申請時と同じ支援チームに相談後、提出をしてください** |

**・大幅な経費の変更（補助金交付申請額の80％未満となった）の場合、補助対象経費が増額した場合、変更申請が必要となります。見積書の再提出が必要です。**

**・計画以上の額は認められません**

１　補助金額

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 補助対象経費（消費税抜き） | 申請（変更） | 800,000円 | 補助金交付申請額（左記金額の2/3以内） | 申請（変更） | 500,000円 |
| 実績 | 800,000円 | 実績 | 500,000円 |

※変更の場合は括弧書きで記載

**６経費配分の合計金額と同じ**

**実際に購入した金額を記入**

２　事業テーマ（30字程度で簡潔に記載）

|  |
| --- |
| 新たな漁業種との併用による漁業経営の安定化 |

３　実現したい取組と狙い　（異業種との連携の場合は、連携先も記載）

☑　全く新しい取組である　　　　□　既存の取組の大幅な改良である

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| これまでとの違い（新しさのポイント）を明確に記載すること、また異業種との連携の場合は連携内容についても記載すること

|  |  |
| --- | --- |
| 連携先 |  |
| 取組内容 | 〇〇〇などの大型魚にも対応できる巻き上げ力の強い大型のリールを新たに導入する。 |
| 狙い | 現在もっているキンメダイ用のリールは小型であり、大型魚種を漁獲することができないが、新たにリールを導入し、〇〇〇などの大型魚も漁獲対象とすることで、新たな収入を確保することができる。大型魚水揚げ金額：0→100万円 |

 |

４　３を実現したいと思った理由

|  |
| --- |
| 現在の経営を通じて何が課題となっているのか、あるいは、今般申請する事業（取組）を計画するきっかけとなった問題点等を記載すること。現在、一本釣りで主にキンメダイを釣っているが、近年キンメの漁獲量は減少傾向であり漁業経営が不安定となっている。漁船用の燃料などの価格高騰により経費も嵩んで、キンメ漁だけで今後も事業を継続していくことは極めて不可能に近い（R5年間経費：船舶維持費100万円、燃料費150万円、資材費150万円）。そのため、対象魚種を拡大することで、漁業経営の安定化を図りたいと考えたため。 |

５　取組５年後の目標値

（１）基準年

|  |  |
| --- | --- |
| 基準年 | 選定理由 |
| 令和５年 | 漁業収入が最も低かったため |

（２）算出方法

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①収入 | **－** | ②支出 | 　＝ | ③収益（①-②） | **⇒** | ④達成目標（③×1.1以上） |
| 1,000万円 | 400万円 | 600万円 | 660万円以上 |

※過去５年間の内、自身が基準とする年度の①収入と②支出について記載(該当分野の収益のみでも可)

※「８　目標の達成に向けた計画」に取組の詳細記載

６　経費配分　（単位：円）

**実際に購入した金額と、その2/3**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 費　目 | 補助対象経費①（消費税抜き） | 実績（補助対象経費） | 補助金充当額②（①の2/3を上限） | 実績（補助金充当額） | 備考（商品名、数量等） |
| 資材等費 |  |  |  |  |  |
| 機械装置等費 | 800,000 | 800,000 | 500,000 | 500,000 | 〇〇などの大型魚種に対応した電動リール１個 |
| 広報費 | 　 |  | 　 |  | 　 |
| 展示会等出展費 | 　 |  | 　**記載例**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 補助対象経費①（消費税抜き） | 実績（補助対象経費） | 補助金充当額②（①の2/3を上限） | 実績（補助金充当額） |  |
| **例１：申請時に比べ補助対象経費の実績が下回った場合** |
| 800,000 | 700,000 | 500,000 | 466,666 |  |
| **例２：申請時に比べ補助対象経費の実績金額が上回った場合** |
| 600,000 | 750,000 | 400,000 | 400,000 |  |
| **例３：申請時に比べ補助金充当額の実績金額が大幅（８０％未満）に下がった場合。** |
| 500,000 | 350,000 | 333,333 | 233,333 |  |

 |  | 　 |
| 旅費 |  |  | 　 |  | 　 |
| 借料・損料 |  |  | 　 |  | 　**実績の2/3****端数切捨** |
| 専門家謝金 | 　 |  | 　 |  | 　 |
| 専門家旅費 | 　 |  | 　 |  | 　**実績の2/3が、補助金充当額だが、申請以上は認められない。補助対象経費増額は変更申請が必要** |
| 雑役務費 | 　 |  | 　 |  | 　 |
| 資料購入費 | 　 |  | 　 |  | 　 |
| 産業財産権等経費 | 　 |  | 　 |  | 　**変更申請が必要** |
| 通訳料・翻訳料 | 　 |  | 　 |  | 　 |
| 委託費 | 　 |  | 　**円未満切捨****「1.補助金額の実績」と同額** |  | 　 |
| 外注費 | 　 |  | 　 |  | 　 |
| 計 | 800,000 | 800,000 | 500,000 | 500,000 | 　 |

※変更の場合は、括弧書きで数値を記載し以下の欄に変更理由、変更内容を記載すること

|  |
| --- |
| （変更理由とその内容）**・実施時期についても記載****・報告なので、“～できた”、“～取り組んだ”など過去形で記載****・数値などを用いると具体的な効果が分かりやすいです****・導入したということだけではなく、導入してどのような効果があったか、導入したことでどんな効果が期待できるかまで記入してください。****請求書の日付と合うように** |

７　実績報告

　実際に取り組んだ内容、取組効果について記載

|  |
| --- |
| ・○月に巻き上げ力の高い新しいリールを導入した・○月に試験操業を開始、○○などの大型魚を○○kg漁獲することができた。・大型魚水揚げ金額０円→○○円（増加した収入額等）・○○などの大型魚を漁獲することが、可能となった。・巻き上げ時間が短縮したことで、作業時間が短縮され、他の漁場への移動が可能となった。・作業時間が短縮したことで、燃油消費量の減少が期待できる。 |

８　目標の達成に向けた計画

**申請者№と氏名を記入してください**

団体名・氏名　○○　○○

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年次計画 | 達成目標 |  | 経過報告書 |
| 実績 | 事業の有効性評価とその要因※本事業への意見等についても記載可 |
| １年目（Ｒ６事業年度） | 金額 | ①収入 | 1,000万円 | ①収入 | 1,000万円 | 報告日：令和〇年○月○日□事業効果あり☑おおむね効果あり□ほとんど効果なし□効果なし＜要因＞本年度は試験操業のみであったため、大きな効果は得られなかったが、次年度以降は本格操業とし、漁獲金額の増加を狙いたい。 |
| ②支出 | 400万円 | ②支出 | 400万円 |
| ①-②所得 | 600万円 | ①-②所得 | 600万円 |
| 取組内容 | ・竿、リール発注、納入・新魚種を対象とした漁の準備 **・達成目標と同じ期間（令和６事業年度の収支）の実績金額を記入****・計算違いが無いように** | ・竿、リール発注、納入・新魚種を対象とした漁の準備 、試験操業の開始・水揚げ金額（キンメ○万円、大型魚○万円） |
| ２年目（Ｒ７事業年度） | 金額 | ①収入 | 1,040万円 | ①収入**収入、支出の内訳等具体的に記載** | 万円 | 報告日：　　　年　月　日□事業効果あり□おおむね効果あり□ほとんど効果なし□効果なし**・１年目の経過報告については、R６事業年度が終了し、収支が確定した後、速やかに提出してください。****実績報告書と同時に提出する必要はありません。****・R６年12月末で収支が確定した場合、実績報告書と経過報告書を同時に提出することも可能です。提出期日は２月１０日です。****・決算がR７年３月の場合は、実績報告書は２/10までに提出し、収支確定後の４月以降に経過報告書のみ提出することも可能です。****・経過報告書を提出しない場合は、R７年度以降、イノベーション創出事業補助金の交付は受けられません。**＜要因＞ |
| ②支出 | 400万円 | ②支出 | 万円 |
| ①-②所得 | 640万円 | ①-②所得 | 万円 |
| 取組内容 | ・操業の習熟・目標年間漁獲金額（キンメ990万、新魚種50万） |  |
| ３年目（Ｒ８事業年度） | 金額 | ①収入 | 1,090万円 | ①収入 | 万円 | 報告日：　　　年　月　日□事業効果あり□おおむね効果あり□ほとんど効果なし□効果なし＜要因＞ |
| ②支出 | 420万円 | ②支出 | 万円 |
| ①-②所得 | 670万円 | ①-②所得 | 万円 |
| 取組内容 | ・新たな漁場拡大・目標年間漁獲金額(キンメ990万、新魚種100万)  |  |
| ４年目（Ｒ９事業年度） | 金額 | ①収入 | 1,090万円 | ①収入 | 万円 | 報告日：　　　年　月　日□事業効果あり□おおむね効果あり□ほとんど効果なし□効果なし＜要因＞ |
| ②支出 | 420万円 | ②支出 | 万円 |
| ①-②所得 | 670万円 | ①-②所得 | 万円 |
| 取組内容 | ・３年目の取組継続 | ・２年目（R７事業年度）以降はR７事業年度終了後に記載して提出・５年間（R１０事業年度終了まで）経過報告必須・提出しない場合は、R７年度以降、補助金の交付はうけられません。 |
| ５年目（Ｒ10事業年度） | 金額 | ①収入 | 1,090万円 | ①収入 | 万円 | 報告日：　　　年　月　日□事業効果あり□おおむね効果あり□ほとんど効果なし□効果なし＜要因＞ |
| ②支出 | 420万円 | ②支出 | 万円 |
| ①-②所得「5　取組５年後の目標値」④またはそれ以上の数値を記載 | 670万円 | ①-②所得 | 万円 |
| 取組内容 | ・3年目の取組継続 |  |